

7 ふじのくに国際高等学校実施報告書

1 実施日時 令和6年11月16日（土）9時30分から12時00分まで

2 実施場所 ふじのくに国際高校（住所：島田市金谷根岸町35）

3 実施内容

（1）タイトル 「WAY to DREAM」（生徒一人ひとりが夢を実現できる高校）

（2）内 容

Way to Dreamは、地元の企業や商店などの協力を得て、静岡県立ふじのくに国際高等学校の魅力を広めることを目的に実施しました。本プロジェクトの目標は、学校の特徴を地域に伝え、学校に対する認知度を高めるとともに、生徒自身が主体的に学び、成長できる機会にすることです。具体的な内容として、以下のような活動が行われました。



- ・動画制作：夢に向かって努力する本校生徒のインタビューをまとめ、学校のプロモーションビデオを制作・上映しました。イベントに先立ち、その告知動画も制作しました。映画制作会社サンライズ(株)の永井さん、斎藤さん、YouTuber ゴッチさん、YouTube コンサルタント石神さんに撮影や編集指導をしていただきました。
- ・パン販売：島田市のパン屋シルベスターさんに本校のイメージを反映したオリジナルパンのデザインを依頼し、イベント当日に販売しました。
 - ①ふじのくに国際高校 → 富士山の形にした（＝本校の生徒には末広がり
に果てしない可能性があり、静岡県のシンボルとして未来の教育を担う
高校という意味を込めました）
 - ②地元の新鮮なお茶の葉を練り込んだ（＝本校が今年誕生したばかりの
初々しい姿という意味を込めました）
 - ③静岡産のあんこを入れた（＝中身が詰まった、これから実りのある本校
の生徒という意味を込めました）
- ・校内クイズラリー：来場者の年齢層に配慮したクイズの内容作成と掲示物を工夫しました。島田市博物館を訪問し、そのノウハウを教わりました。
- ・広報活動：コンビニやスーパーなど地域の店舗を訪問し、イベントチラシを配布しました。
- ・外部連携：島田市役所、島田市商工会、金谷公民館かなうえるを訪問し、地域の現状について学び、本企画の相談をしました。また、金谷おでんなど地元の食

材を提供して地域の魅力を知ってもらうため、金谷で戦前から親しまれる商店わきっちゃんをイベントにお招きしました。

- ・ボランティア参加：金谷の NPO シマシマが主催の地域イベントで奉仕活動をしました。

4 プロジェクトの概要

＜テーマ設定＞

WAY to DREAM は、ふじのくに国際高等学校の魅力を地域社会に発信することを目的にしたプロジェクトであり、生徒一人ひとりが夢を実現するための一歩を踏み出す場としました。生徒が、自ら主体的に企画・運営し、地域とのつながりを深めることで、学校の存在意義を再認識することを目指しました。

＜イベント実施までのプロセス＞

時期	内 容
4/23	チーム結成 16 名
4/26	チームとしての約束、意識づくり
5/7	現状と課題についてブレインストーミング 島田市市役所訪問、地域課題について学ぶ
5/10	島田市商工会訪問、相談 商工会の石神さん、動画制作会社サンライズのゴッチさんとの顔合わせ
5/23	生徒の企画内容案が固まる ・クイズ大会 ・スタンプラリー ・パン ・意見箱 ・ビデオ上映等
5/24	サンライズ(株)、Youtuber ゴッチさんとのミーティング
6/7	企画書提出
6/28	企画書の採用決定
7/1	告知動画の内容検討、係分担決め
7/10	イベント当日の内容検討（ミニ動画、スタンプラリー、パンの共同制作・販売、生徒の学びの発表の場）
7/12	組織としての意識づくり
8/9	オンラインミーティング
8/23	KADODE00IGAWA 訪問 出店の相談
9/初旬	「告知動画」の撮影開始（サンライズ(株)の撮影） 校内、授業の様子、放課後の様子、校外風景など
9/14	NPO シマシマ主催の地域イベント「水祭り」にボランティア参加
10/4	イベントの「告知動画」の発表（年次集会）

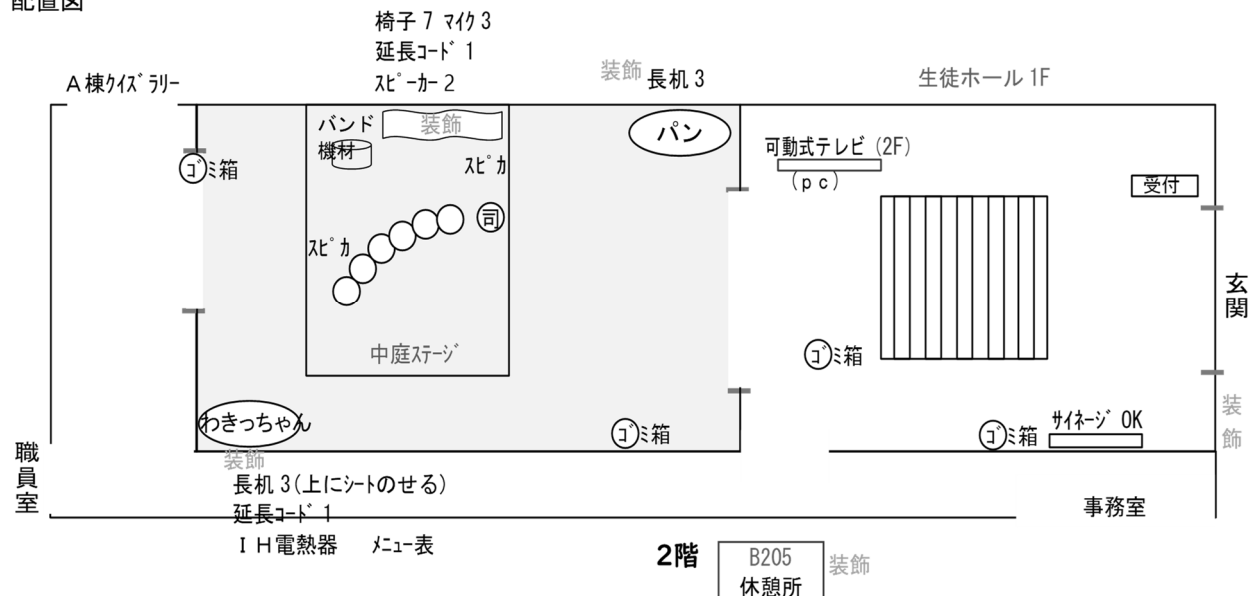
時期	内 容
10/10	島田市博物館を訪問 クイズラリーについて学ぶ
10/上旬	チラシの作成
10/中旬	「本番動画 WAY to DREAM」の作成開始（サンライズのゴッチさん、斎藤さん、永井さん、YouTube コンサル石神さんより動画制作指導。生徒インタビューの撮影、編集作業）
10 月下旬	チラシ 1000 枚を近隣の小中学校、商店、公民館等に配布
10/31	ミーティング（あと 2 週間） 係分担の詳細決め
11/7	ミーティング（あと 1 週間）
11/15	「本番動画 Way to DREAM」の完成 最後の準備
11/16	【WAY to DREAM】本番当日

<イベント当日>

本校の学校説明会と同日に実施しました。イベントに参加した近隣の小中学生や地域住民の方々に対して、ふじのくに国際高等学校の良さを体験してもらいました。

時 間	内 容	会 場
9:30	集合 会場準備	
9:30-10:40	学校説明会（概要説明、模擬授業）	
10:40-10:45	模擬授業終了後、生徒によるイベントのアナウンス	教室
10:45-11:00	動画上映（学校説明会に参加した中学生・保護者に上映）	教室
11:10-11:25	生徒トークショー （代表生徒 5 人が企画全体についてふりかえる 動画制作会社サンライズとのトークショー）	中庭ステージ
11:10-12:00	シルベスター コラボパンの販売（限定 100 個）	中庭
	わきっちゃん 食品販売	中庭
	校内クイズラリー	校内
	動画再生（生徒ホールでは動画をループ再生）	生徒ホール
	バンド演奏（生徒トークショー後に中庭ステージで）	中庭ステージ
12:00-13:00	片付、挨拶、解散	

配置図



5 感想

(1) 取り組んだこと・意識したこと

- ・動画制作では、他者からのフィードバックを積極的に受け入れ、内容を改善した。
- ・パン屋さんとのコラボでは、本校のイメージを反映したパンのデザインを提案した。
- ・広報担当として、地域住民に本校の魅力を伝える責任を果たした。

(2) WAY to DREAM を通して変わったこと・学んだこと

- ・話し合いに積極的に参加し、自分事として捉えるよう意識した。
- ・大人との会話の難しさを感じたが、“話そうとする意思”の重要性に気付いた。
- ・コミュニケーション能力や積極性が向上した。
- ・自己満足ではなく他者目線で考えることの大切さを学んだ。
- ・計画的に行動し、メンバー間で情報を共有する重要性を実感した。

(3) 改善点・今後の課題

- ・誰かがやってくれるだろうと、人任せで無責任にしてしまった。
- ・役割分担や引き継ぎの重要性を認識したが、実践が不十分だった。
- ・作業の進行状況を把握しきれず、連携が滞った場面があった。
- ・I部とII部の連携不足を解消するため、全体での話し合いを増やせば良かった。

(4) 今後、本校の生徒として意識すること、提言

- ・校外への広報活動を継続し、地域に学校の魅力を発信していくべき。
- ・I部・II部・III部の時間帯の連携を強化し、全体が協力できる仕組みを作りたい。
- ・後輩にこの経験を引き継ぎ、本校の伝統的な行事として発展させていきたい。
- ・計画性を持ち、細かく連絡・報告・相談を徹底することで、さらに質の高いイベント運営に挑戦したい。
- ・学校全体が一丸となる環境を整え、本校を盛り上げていきたい。



サンライズの皆さんとの出会い



校内の様子



生徒トークショー



オリジナルパンの販売



生徒のインタビュー動画



生徒のインタビュー動画



みなさん
お疲れ様でした